

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年8月9日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	みらい建設工業株式会社
所在地	東京都港区芝4-6-12
代表者役職・氏名	代表取締役 石橋 宏樹
担当者連絡先	電話：03-6436-3710 管理本部 梅津博幸
	メール：h-umezu@mirai-const.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.mirai-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は港湾を中心として海上土木工事、浚渫・埋立工事の請負事業を実施している企業である。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型連絡車両導入、使用電力削減によるCo2削減への取組	Co2削減量 30%削減
✓環境 ✓社会 ✓経済	循環型社会に向けた建設発生材の再資源化への取組	再資源化促進 アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊の再資源化率99%以上
✓環境 □社会 ✓経済	時間外労働の適正化に向けた働き方改革の取組	作業所閉所率(4週8閉所) 90% 残業時間 60時間(月平均)以下

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	エンゲージメント委員会の開催、社員の考えを伝えやすくするための意見箱(suggestionbox)を設置 社員のエンゲージメント向上のための意識調査の実施				4.1 4.4 4.5 4.7	5.1 5.2 5.5											16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社員へのハラスメント教育の実施 パワーハラスメント・セクシャルハラスメント対応のハラスメント相談窓口を設置し、相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5											16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有し管理体制の整備、働き方改革目標に現場作業所4週8閉所を掲げ、休日出勤および残業時間の削減への取り組み 電子ツール(タブレット等)の活用による作業の省力化、ITC施工による作業の効率化の取り組み促進、勤怠についてはPCのログイン・ログオフ打刻管理により労働時間を把握し、長時間労働防止に取り組んでいる																8.5 8.8	
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	ハラスメント相談窓口の設置とハラスメント教育を実施している コンプライアンス委員会を設置し、社員のコンプライアンス意識調査をおこなう等により差別や人権侵害について確認している グループ全体で、外国人職員のコミュニケーションの機会をつくり、職場環境の情報共有により差別・人的侵害の状況確認、外国人職員のための相談窓口の設置をしている				4.4												8.5 8.7 8.8 10.2 10.3	
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001認証取得済 本社にて安全衛生委員会を月1回、各現場においては各支店の安全管理部にて月2回の安全衛生環境パトロールを実施し、労働環境の整備と労働災害防止の安全教育に取り組んでいる			3	4												8	
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	社内ストレスチェック制度実施要領に従い、社員のストレスへの気付きを促すため、全社員へのストレスチェックを実施し、 ストレスチェックの結果をもとに社員が産業医の面談を行えるよう面談時間を確保するなどサポートする対策に取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	ジェンダー平等と適材適所への取り組み 女性・外国人・障がい者・高齢者の雇用促進と環境整備に取り組んでおり、定年65歳制や女性管理職登用、外国人の採用などの取り組みを行っている				4	5.1 5.5 5.b											8.5 10.2 10.3	
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別教育の実施やOJT・OFFJTの実施のほかジョブローテーションによるスキルアップの機会を提供している 資格取得に向けての教育体制整備、取得費用の会社負担および補助を行っている				4	5.5											8 9 10.2	

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	就業規則を整備し、順守している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断の実施、再検査の費用の補助、予防接種の補助を行っている 外部システム利用によるメンタルヘルスチェックおよび産業医への面談を実施し、社員の健康管理に取り組んでいる			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	建設副産物の発生抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理の取り組みを行っている										11.6	12.4 12.5	14.1					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	使用電力量の把握、各現場作業所仮設ハウスの再生可能エネルギー利用促進によるエネルギーの効率化を進めている								7.3				13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	低燃費型重機・低燃費型連絡車(ハイブリット車含む)の導入促進および再生可能エネルギーの活用と電力消費の削減の取り組みを行っている								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	リクスアセスメントの実施と法令遵守の確認を行っている			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境に配慮した施工を通じて、生物多様性保全に配慮している 絶滅危惧種等の生態系を維持するための環境配慮施工を行っている						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	各施工場所において水質汚濁防止対策や節水対策(循環型機器の設置等)を行っている						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001認証取得済			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	CSR報告書をHPへ掲載し、当社の環境への取り組みを公開している					4		7	8	9		11	12.6	13	14	15		
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	再生可能エネルギー事業への参画への取り組み 各現場作業所での再生可能エネルギー利用推進を行っている								7.2 7.a				13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	自然石を資材に使用するなどの持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001 ISO45001認証取得し、品質と安全を確保するマネジメントを構築している			3.9								12.4						

(様式第 4 号)

令和 5 年 10 月 10 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都港区芝 4-6-12

名称： みらい建設工業株式会社

代表者： 代表取締役社長 石橋 宏樹

登録年月日： 令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型連絡車両導入、使用電力削減による CO2 削減への取組	CO2 削減量 30%削減	2022 年度 低燃費型連絡車導入率 47% 2021 年度比 導入率 15%up。
✓環境 ✓社会 ✓経済	循環型社会に向けた建設発生材の再資源化への取組	再資源化促進 アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊の再資源化率 99%以上	2022 年度 アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊 再資源化率 98%
✓環境 □社会 ✓経済	時間外労働の適正化に向けた働き方改革の取組	作業所閉所率 (4 週 8 閉所) 90% 残業時間 60 時間 (月平均) 以下	2022 年度 作業所閉所率 (4 週 8 閉所) 68% 残業時間 60 時間 (月平均) 以下 94%